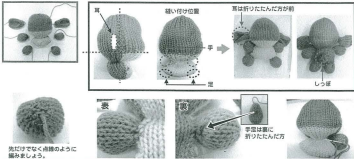




## 6. ステッチを組み立てます。

切らないで残しておいた糸で縫い付けていきます。



## 7. フェルトをつけます。

※フェルトの色はパッケージを見てね！

※フェルトはシールになっているので、白い紙はがしてはってね！

完成!



## エンジェル・リロイの作り方

★市販の毛糸・フェルト・線を用意してね！(色の参考はパッケージを見ましょう)  
※セット内容のステッチ用毛糸と同じ長さの毛糸が必要です。

- 1 エンジェル・リロイの毛糸を使って、「ステッチの作り方」と同じ方法で作りましょう！
- 2 10ページの型紙目・鼻・耳を用意して、手芸用ボンドで貼ります。
- 3 パッケージの中についている触角をハサミで切って、手芸用ボンドで貼ります。



リロイ完成!



エンジェル完成!

## ステッチカラーのしましまマフラー

### 用意する物

●毛糸 (45g糸長約79mの太さの物) ・青・うすい青 ●毛糸針

### マフラーを作りませう

- 1 輪編みでマフラーを編みます。(色の覚え方は2ページ)



※2色をお気に入りの長さまで編みます。  
編み始め・編み終わりの毛糸はしぼり、地味します。

### ぼんぼんを作りませう



- 1) 50回巻きます
- 2) 厚紙から毛糸を抜き取り、真ん中をきつ、しぼります。毛糸の両端の縞の部分を取ります。
- 3) ぼんぼんをマフラーに付けます。

## 輪編みの編みかた

### ・輪編みの仕上げり・

編み地の直径約6cm 長さは自由



1. ハンドルを回して編んでゆきます。輪編みのときはいつも、時計のすずむ方向に回してください。最初の2周は中にたらしした毛糸を軽く引っ張ってハンドルを回してください。  
△ ハンドルは乱暴に回さないでね!  
△ ハンドルはゆっくり一定の速さで回してね!  
△ 土台を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルを回します。

2. 編み目が長くなってきたら手前に出しましょう。編み地のねじれをとるときなおしましょう。



編んでいる途中で、なるべく下から軽く引っ張るようにしましょう。(ハンドルを数回まわしたら編み地を下から引っ張る—など)



毛糸がなくなりそうになったら、色をかえたいときば...



図のように毛糸をきり、新しい毛糸をむすびつづけます。毛糸をきんだらこまごまどおりハンドルを回せば続きを編めます。

## 編み終わったら

1. フタを外します。
2. テンション・糸口から毛糸を外します。
3. 毛糸をもって、ハンドルを時計のすずむ方向へ回し、1回転させます。強く引っ張らないでね。
4. 編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそっと取り出します。編み目がほぐけないように、注意しましょう。



5. 編み終わりの毛糸をちょうど一層分ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。

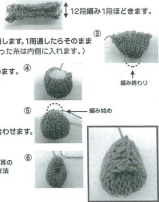


もしも、毛糸が針からははずれないところがあったら、セットの内側の毛糸針で外し直しましょう。



2、手・足を4個作ります (濃いブルーの毛糸・縮み・縫を用意)

- ①ダイヤルを縮みにして12段編みます。
  - ②本体から外して、縮み終わりを1段ほどいて毛糸を20cm残して切ります。
  - ③後処理をします。(針に縮み終わりの残り糸を通して縮み輪に通します。1周したらそのまま引っ張り中央に寄せます。3ページの①～⑤の結びをして、残った糸は内側に入れます。)
  - ④縮み始めの糸を少し引っ張り、袋状にしてから縫を逆の方に縫えます。
  - ⑤縮み始めの残り糸をゆっくりりっぽり中央を縫い4ページの①～③の結びをします。
  - ⑥糸が出ている方(縮み始め)の上を折りたたんで上3cmを縫い合わせます。
- ⑦同じ方法であと3個作ります。



完成

3、しっぽを1個作ります。(濃いブルーの毛糸・縮み)

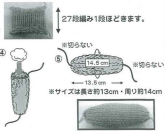
- ①ダイヤルを縮みにして6段編みます。
- ②本体から外して、縮み終わりを1段ほどいて毛糸を切ります。
- ③後処理をします。(針に縮み終わりの残り糸を通して縮み輪に通します。1周したらそのまま引っ張り中央に寄せます。3ページの①～⑤の結びをして、残った糸は内側に入れます。)
- ④縮み始めの糸を引っ張り4ページの①～③の結びをします。



完成

4、縫い物を作る。(薄いブルーの毛糸・縮み・縫を用意)

- ①ダイヤルを縮みにして27段編みます。
- ②本体から外して、縮み終わりを1段ほどいて毛糸を切ります。
- ③後処理をします。(針に縮み終わりの残り糸を通して縮み輪に通します。1周したらそのまま引っ張り中央に寄せます。3ページの①～⑤の結びをします。)
- ④縮み始めの糸を少し引っ張り、袋状にしてから縫を逆の方に縫えます。
- ⑤縮み始めの残り糸をゆっくりりっぽり中央をしめ4ページの①～③の結びをします。



完成

縮み輪の縮み始めの処理方法

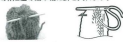
★注意：縮み輪に一周通す必要はありません。



- ①残った糸をゆっくりりと引っ張り穴をふさぎます。



- ②残った糸の隣の縮み輪に針を入れます。



- ③針を通して引っ張り輪を作り、そこにまた針を通して結びます。

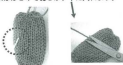


《残り糸を隠す場合》

- ④てっぺんから針を内側に入れます。



- ⑤内側から通した糸を引っ張りします。※余分な糸ははさみで切るか、中に入れます。



- ①最後の縮み輪にもう一度針を通します。



- ②針を引っ張り輪を作り、そこにまた針を通して結びます。



© Disney

## ・平編みの仕上げり・

編み地の直径約10cm 長さは自由



- フタを外して、ダイヤルを平編み(H)の位置にしましょう。
- ハンドルを手前(時計と逆回りの方向)に止まるまで回します。  
⚠ 無理をしてそれ以上回すと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。
- 1ページ(毛糸をセットしましょう)の手順を見て毛糸をセットしましょう。  
(今度は時計の進む方向へハンドルをゆっくり回します。)
- 平編みはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを手前(時計と逆回りの方向)に回し、止まったまま時計の進む方向に回します。この作業を繰り返します。  
※1列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っぱりておきましょう。  
注意:ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルを回さないでね。
- ダイヤルを編組み(W)の位置に変えて、編み地を取り外します。  
2ページの「編み終わったら」と同じ方法で外してね。

この毛糸を  
ひきめいて  
ください。

★基本の編み方を練習してからチャレンジしてね!



## 油性ペンで印をつけよう!

- ダイヤルを平編みにする。
- ハンドルを手前(反時計回り)に止まるまで回す。
- 止まった位置に油性ペンで印をつける。
- ダイヤルを編組みにする



## 後処理をしやすくするために・・・

編み終わりの毛糸を軸に通しやすくするために、作り方に書かれている段数は1段多く  
なっています。

各1ページ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいってから後処理をしてください。

※編み終わったら本体から外して、1段ほどいってから約20cmのところをはさみで切ってください。

※編み始めは約5cmを本体中央にたらししてください。

⚠ セットした毛糸は段数に書かれません。



## 用意する物

- ★セット内容・・・●毛糸(2色) ●フェルト(5色)
- ★その他・・・綿(市販のものをご利用ください)

## スティッチのからだの各部分を作ります

## 1、耳を2箇所作ります(濃いブルーの毛糸・編組み)

- ダイヤルを編組みにして18段編みます。
- 本体から外して、編み終わりを1段ほどいって毛糸を20cm残して切ります。



- 後処理をします。(針に編み終わりの残り糸を通して編み軸に通します。1周したらそのまま引張り中央寄せます。3ページの①～⑤の結びを、残った糸は内側に入れます。)



一通す

毛糸を引張り中央寄せして3ページの①～⑤の結びをする。

内側に針を入れる

編み終わりの糸は内側に入る

- 編み始めの残り糸をゆっくり引張り中央をしめ4ページの①～⑤の結びをします。



編み終わりの糸

編み始めの糸

- 糸が出ている方(編み始め)の上を折りたたんで上2cmを縫い合わせます。



- 編み始めの残り糸を一度上から2cmのところを通し、下から上へ縫い合わせます。



- 同じ方法でもう片方の耳を作ります。

完成

## 平編みの編み終わりの処理方法

## 平編みの編み終わりの処理方法

★注意: 編み終わりの毛糸を軽くひきめると、編み目がはたけやすくて、耳をつまみやすい。

- 編み終わりの毛糸を毛糸針におし、軸に通して、縫い合わせます。縫い合わせるときは、編み目を軽く引張り中央寄せます。
- 編み終わりの毛糸を毛糸針におし、縫い合わせます。縫い合わせるときは、編み目を軽く引張り中央寄せます。
- 毛糸が残ったら、編み地の中央へ少しゆかに、残った毛糸は引きめきましょう。

## 平編みで編んだあみ地を2つ折りにして両サイドを開じる処理方法

- 毛糸に糸をとし、図のように目をひらがなととしていきます。



- 毛糸をつれないようにしてとじます。



## 平編みの編み始めの処理方法

- 編み始めの毛糸を毛糸針におします。
- 毛糸の軸をつくり、針とおしてむすびます。
- 毛糸が残ったら、編み地の中央へ少しゆかに、残った毛糸は引きめきましょう。



## リジダーが止まりハンドルが怪まっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

- 作りかえつまみを平編みの位置にし、ハンドルを止め止まってもまわらなくなったとき。
- 毛糸がテンションや針の中にかからず、そのままリジダーがまわらないとき。
- 毛糸を巻く前にまわらなくなると、そのままリジダーをまわらなくなったとき。
- 毛糸にむすび目があり、テンションにとらさず引っこかかってしまったのにハンドルをまわらなくなったとき。
- 数本毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってハンドルをまわらなくなったとき。

編みの編み終わりの処理方法

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほぐれますので、気をつけましょう。

後処理をしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体から外した後に1段手で残り糸をゆっくり引っ張って1段(1周)ほどにしてください。  
※毛糸をはきみて切るのは1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。



針に毛糸を通しやすくするために…

セット内容の針に毛糸を通しやすくするために毛糸の先にセロハンテープを巻いて針穴に通しましょう。  
通したらセロハンテープは外しましょう。



編み終わり



- ①残り糸に針を通します。 ②輪になっている編み目に針を通します。 ③1周全て針を通します。



絞る場合



①1周した後残った糸をゆっくりと引っ張り穴をふさぎます。

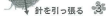
②残った糸の隅2箇所の編み輪に針を入れます。

③針を通して引っ張り輪を作り、そこにまた針を通して結びます。

《残り糸を隠す場合》

④てっぺんから針を内側に入れます。

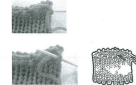
⑤内側から通した糸を引っ張ります。  
※余分な糸ははきみて切るか、中に入れます。



絞らない場合



①1周した後最後の編み輪にもう一度針を通します。



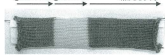
②針を引っ張り輪を作り、そこにまた針を通して結びます。



5、裏6胴体を1周作りませ。(濃いブルーの毛糸と薄いブルーの毛糸・平編み・結を用途)

- ①ダイヤルを平編みにして②の位置から濃いブルーの毛糸で23段編みます。  
②続けて薄いブルーの毛糸で20段編みます。  
③続けて濃いブルーの毛糸で44段編みます。

- ①濃い:23段 ②薄い:20段 ③濃い:44段編み 1段ずつおきます。



★ポイント…横と縦は2色の毛糸で編みます。色を変えるタイミングをばおえませ。

糸の色を変えるタイミング



④本体から外して、編み終わりを1列ほど毛糸を20cm残して切りませ。

⑤中央を引っ張らないように編み輪に針で1列通ませ。(※玉結びはしません)

⑥二つ折りにして両サイドを開けて袋状にませ。(※濃いブルーの毛糸約80cm)

※2ページの両サイドを開ける処理方法を参考にしてね。

⑦顔を作るための紐を縫ませ。

⑧薄いブルーの下から10段目の編み目に薄いブルーの毛糸約60cmを表裏1周通ませ。



⑨通した毛糸を縫り、サイズを合わせて結び余った糸は、針で中に押し込んでください。

⑩先ほど2ページで作った紐の物を入ませ。

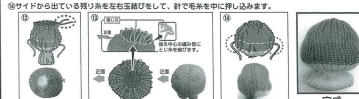


⑪顔に紐を縫ませ。

⑫2本の残り糸を引っ張り、5cmの穴になるように縫ませ、2本を玉結びして残った糸は穴の中に入ませ。

⑬5cmの穴を別の毛糸で縫んで埋ませ。(※濃いブルーの毛糸約60cm)

⑭サイドから出ている残り糸を左右玉結びをして、針で毛糸の中に押し込みませ。



完成



## 編みはじめる前の準備

※セット内容の毛糸は「ステイッチのおみくろみ」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸でかまいません。

### 縫込み

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを「縫込み」(W)に合わせます。



### 毛糸をほぐし置しよう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやおき箱などに、ほぐしていきましょう。



### 油性ペンで印をつけよう!

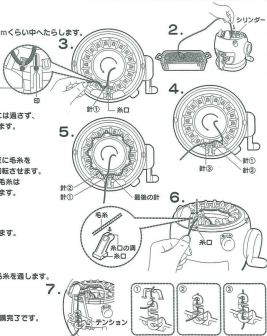
- ①ダイヤルを平編みにする。
- ②ハンドルを手前(反時計回り)に止まるまで回す。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつける。
- ④ダイヤルを輪編みにする



※選んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体から外して編み終わりをほどきましよう。

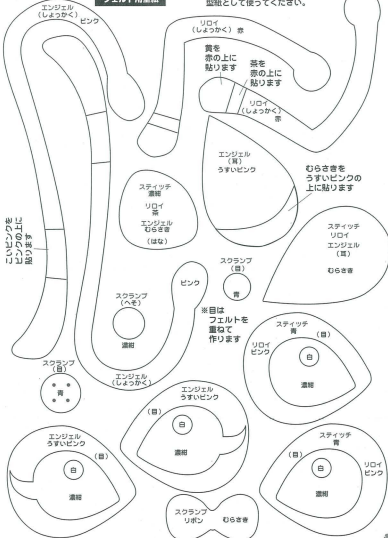
### 毛糸をセットし置しよう

1. フタを外します。
2. 毛糸の先を筒のように、約20cmくらい中へたらしめます。
3. 針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかかけます。
4. ハンドルを少し回して、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
5. このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンドラーを1回転させます。正しく毛糸がかかっているれば毛糸は最後の針の後ろを通っていきます。
6. 糸口の真上から毛糸を通します。
7. テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
8. フタをセットして輪編みの準備完了です。



## フェルト用型紙

※この図面を別の紙に写し取った物を型紙として使ってください。



●スクランブの裏のリボン(茶)は5mm幅です